

群馬東部水道企業団みどり支所庁舎建設基本設計書



## ■ 目次

A-1	敷地概要・建物概要
A-2	周辺環境・設計方針
A-3	配置計画
A-4	平面計画
A-5・6	外観計画
A-7	断面計画



## ■ 敷地概要・建物概要



### ○ 敷地周辺の様子



西側県道南側より



西側より



西側県道北側より



東側銅街道南側より



鹿の川沼公園

### 敷地周囲について

計画敷地西側県道添いには住宅が立ち並び、北東側には住民の憩いの場である鹿の川沼公園があります。

### ○ 洪水・土砂災害ハザードマップ



### ◆ 敷地概要

計画地 : みどり市笠懸町鹿288-1他  
 用途地域 : 指定無し  
 防火地域 : 指定無し・法22条区域外  
 敷地面積 : 2795㎡  
 建ぺい率 : 70%  
 容積率 : 200%  
 斜線制限 : 【道路斜線】 勾配1.5  
                   【隣地斜線】 勾配2.5+31m  
                   【北側斜線】 規制無し  
 日影規制 : 規制無し

### みどり市土地開発事業指導に基づく届け出

- ・接する道路が6m未満の場合、中心より3mの敷地後退
- ・開発区域面積の3%以上の緑地面積を確保

### ◆ 建物概要

工事種別 : 新築  
 構造 : 鉄骨造  
 耐火等 : その他  
 規模 : 平屋建て  
 用途 : 事務所  
           備蓄倉庫  
           車庫  
 最高高さ : 5.335m  
 軒高 : 4.87m  
 延床面積 : 721.65㎡  
   (庁舎 : 496㎡)  
   (備蓄倉庫 : 92.88)  
   (車庫・備蓄倉庫 : 132.77)  
 建築面積 : 529.75㎡

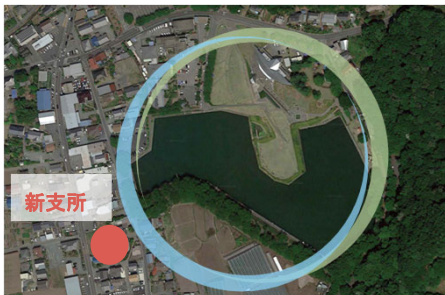


## ■ 周辺環境・設計方針

### ○ 周辺環境



周囲は、公共性のある施設やレクリエーションに富んでいる



計画地周辺には、休日には人々が集い、賑わい、憩い、四季の移ろいを感じる場が点在しています。そこで、本計画では、それら施設や自然をつなぎ合わせ鹿の川沼を中心とした「憩いのサークル」を設け、地域との一体感を持った支所づくりを目指します。

### ○ 設計方針

#### ◆ あまねく人が立ち寄れる場所

水道企業団の庁舎の利用目的としては、「水道料金の支払い手続き」、「給水配管工事についての窓口業務」、「給水管の管理」など、事務的、専門的な利用目的のため、公共的施設ではあるが限られた人の利用がほとんどです。

しかし公共性のある施設としては、周辺環境を頼りにして多くの人々が訪れる場所であって欲しい。目的がなくても行ける場所、だれもが自由に立ち寄り、過ごせる場所となり、さらに誰かがちょっとしたやりたいことを実現できるスペースになれば、今までの庁舎とは異なり、もっと温かみのある施設・場所になるはずだ。



#### ◆ 4つの基本理念（基本計画書）

##### 1：利用しやすく親しみやすい快適な支所

- ・機能的でわかりやすいレイアウト
- ・鹿の川沼に向けた軒下空間に、だれもが自由に立ち寄りやすい施設づくり

##### 2：住民の生活を守る安全・安心な支所

- ・災害発生時において、迅速に復旧・復興活動が行える機能の整備
- ・災害対策本部として防災拠点に対応した設備
- ・一時的な避難所として利用もできる設備の設置

##### 3：長期にわたって使用できる効率的で経済的な支所

- ・シンプルで将来の変化に対応できるレイアウトと構造
- ・利用目的とかわらず、多用途に利用できる会議室
- ・衛生設備の更新に対応した配管ピット

##### 4：地球にやさしいエコな支所

- ・省エネルギー設備機器の採用
- ・ライトシェルフを用いた自然採光の有効利用
- ・床下空間を利用した空調循環方式により、極端な温度設定の低減
- ・自然換気に配慮した窓の設置
- ・複層ガラスの採用や、断熱性能の高い断熱材の採用による空調負荷の低減

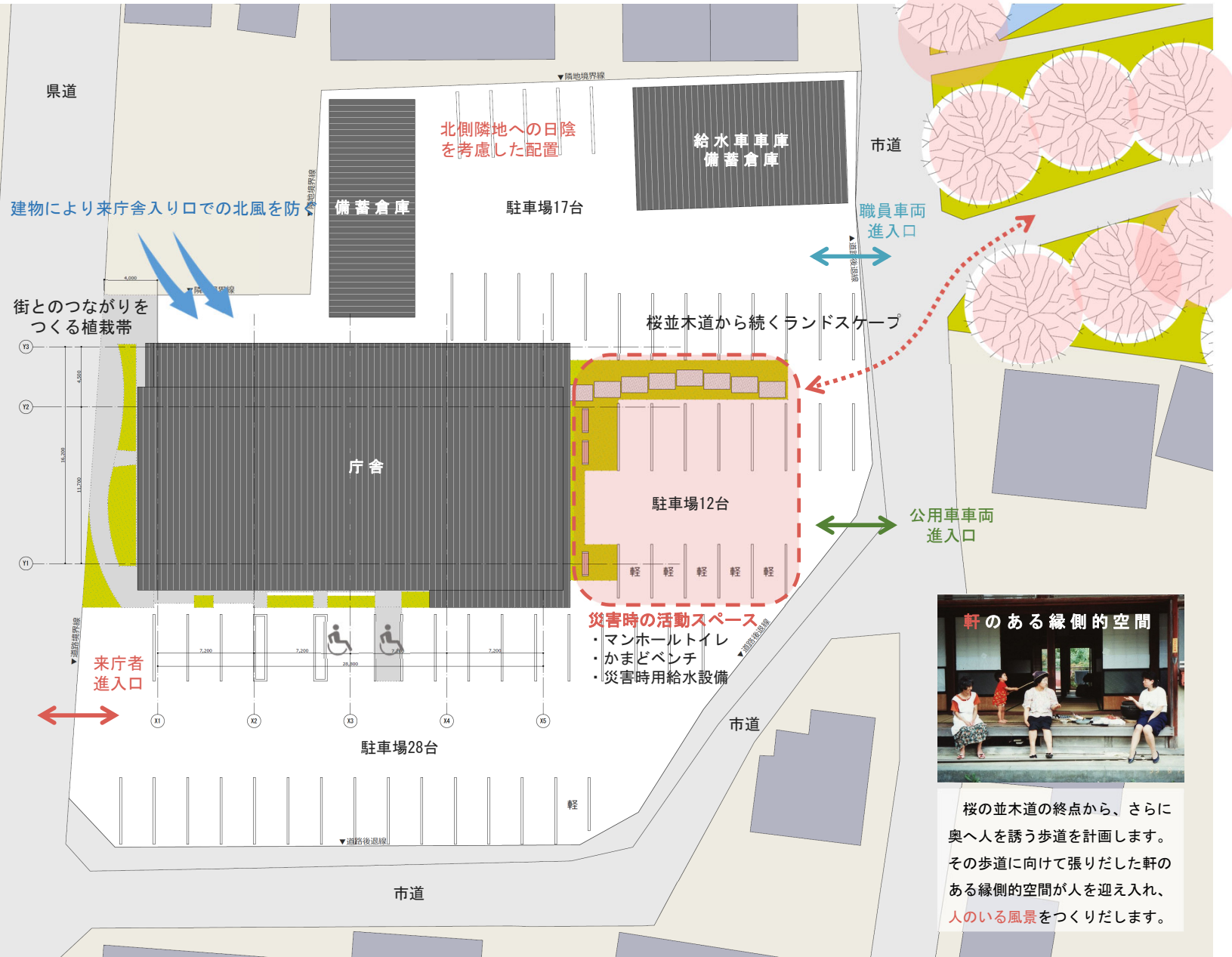
## ■ 配置計画

◆計画建物は交通量の多い西側県道添いに配置し、建物の視認性の良さや、駐車場へのアクセスしやすへ配慮した計画としています。また建物を東西に長くし、冬場の北西からの「からっ風」を建物で遮り、来庁者の出入りに配慮しています。

◆本建物は平屋建てとして計画しています。また、備蓄倉庫は北側に設ける計画ですが、2棟を離れて配置することで本体建物とともに敷地北側の住宅への日影の影響が少なくなるように計画しました。

◆主要な道路がある西側を来庁者用の車両メイン出入口とし、公用車や職員用駐車場は東側道路からアクセスできるように分離した計画としました。公用車・職員用と来庁者用の車両動線を区分けすることで、安全で円滑に駐車場を利用することが可能です。

◆桜並木道から緩やかに連続した敷地内歩道が、人々を奥へ誘い、その先には軒のある縁側の空間へと続いていきます。鹿の川沼の桜並木から散策路が本敷地へとつながる計画としており、地域住民にとっての庁舎が日常的な利用ができる場となることを目指します。

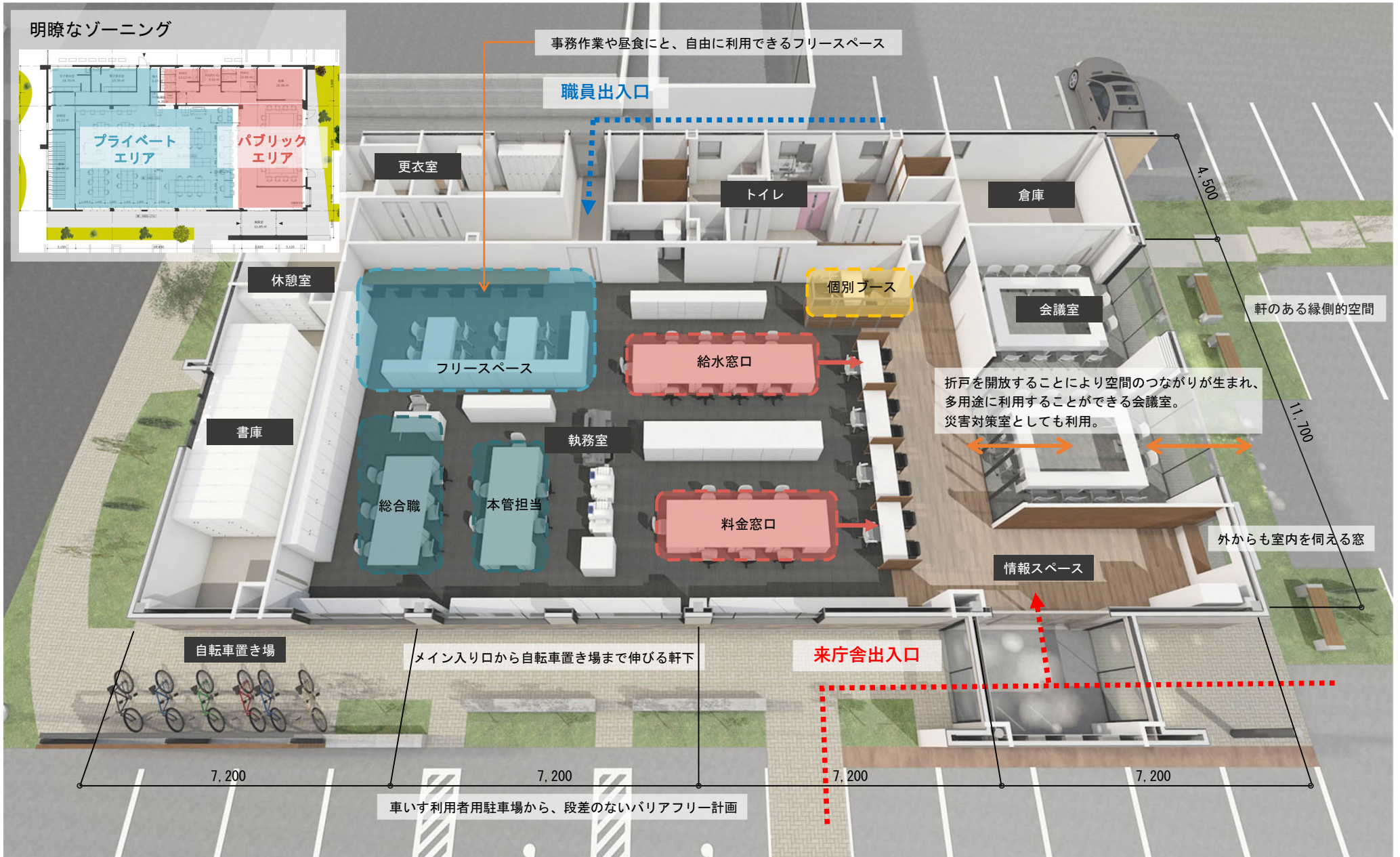


軒のある縁側の空間

桜の並木道の終点から、さらに奥へ人を誘う歩道を計画します。その歩道に向けて張りだした軒のある縁側の空間が人を迎え入れ、人のいる風景をつくりだします。



## ■ 平面計画



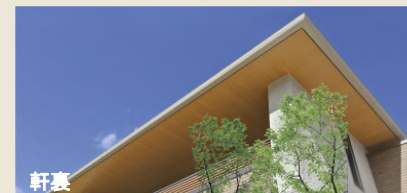
## ■ 外観計画



### 外観計画

里山や桜並木、周辺住宅地のボリュームに合わせた低層建物を計画します。また、各エリアで軒高さや仕上げ材を変えることで単調になりがちな平屋建てにリズムをつけています。色彩計画では、全体的には計画地周辺景色に調和した優しく、暖か味のある色合いでまとめ、一部外壁、屋根の白色がアクセントとなり明るい雰囲気を作り出します。

### 主な外部仕上材





■ 外観計画





# ■ 断面計画

